

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年3月16日（月）

2 確認箇所

高台凍土壁プラントエリア

3 確認項目

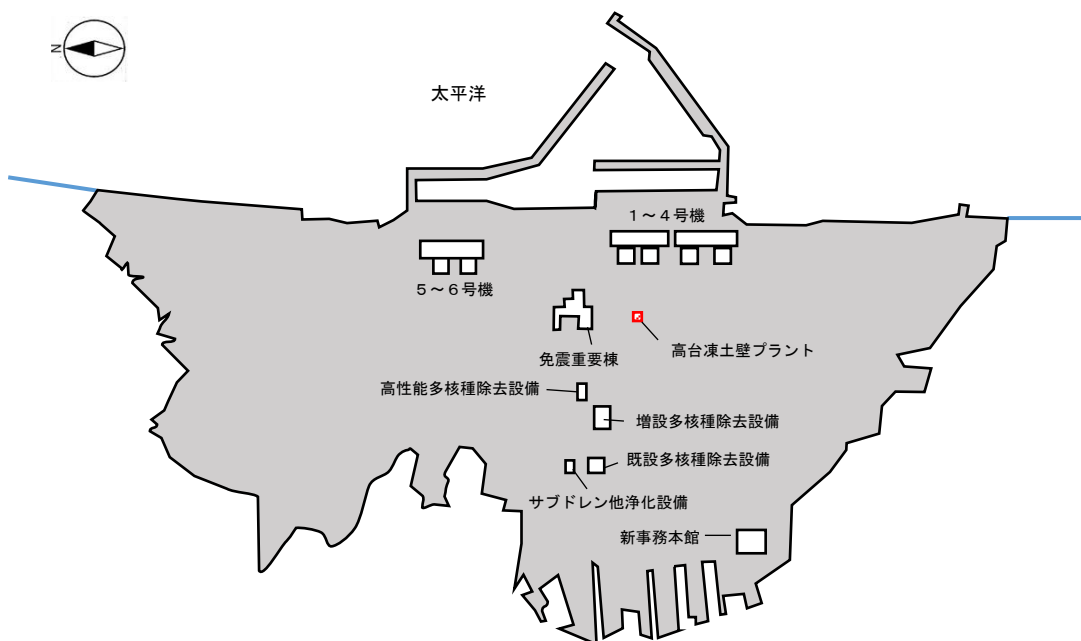
陸側遮水壁ブライントANKの水位低下事象への対応状況等

4 確認結果の概要

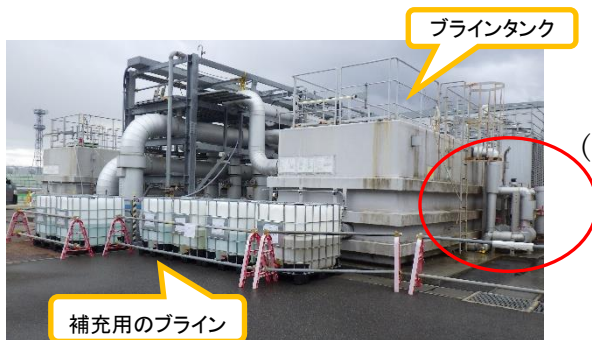
陸側遮水壁ブライントANKの水位低下事象への対応として、これまでブライン補充作業等を確認しているが、引き続き本日の状況を確認した。（前回確認：1月17・21・23日、2月26日）

- ・ブライントANK脇に設置されているブライン浄化装置が稼働していた。
また、補充するための新品のブラインが準備されていた。（写真1）
- ・2月26日に発生したローリータンクからのブライン漏えい事象を受けて、作業前後に閉止キャップの締付けを確認・記録するとの再発防止策が講じられていた。（写真2）

なお、現場に居合わせた東京電力職員によると、浄化装置を稼働させ、本日は2時間程度を予定しているとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) ブラインタンク周辺
(赤丸は浄化装置)



(写真1-2) (写真1-1)の浄化装置を別方向から撮影し、拡大



(写真2-1) ローリータンクに漏えい防止のための記録用紙が貼付されている。



(写真2-2) 記録用紙を拡大。作業開始前後に締付けの有無をチェックするようになっている。

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。